

木造建物実験の評点について

実験概要(20051121.pdf)の、表 2～表 4 にまとめている耐震精密診断結果は、実験後に実施した詳細検討の結果、値が修正されています。最終的な耐震精密診断結果は以下の通りです。

表 2 A 棟の耐震精密診断結果

方向	階	必要耐力 Qr(kN)	保有する耐力 (修正前)(kN)	剛性率 低減 Fs	偏心低 減 Feq	床仕様 低減 Fef	保有する 耐力 Qd(kN)	充足率 Qd/Qr
X	2	20.96	25.83	1.00	1.00	1.00	25.83	1.23
	1	43.44	51.00	1.00	1.00	1.00	51.00	1.17
Y	2	20.96	19.57	1.00	0.91	1.00	17.80	0.85
	1	43.44	21.89	1.00	1.00	1.00	21.89	0.50

表 3 B 棟の耐震精密診断結果(補強前)

方向	階	必要耐力 Qr(kN)	保有する耐力 (修正前)(kN)	剛性率 低減 Fs	偏心低 減 Feq	床仕様 低減 Fef	保有する 耐力 Qd(kN)	充足率 Qd/Qr
X	2	20.96	26.32	1.00	1.00	1.00	26.32	1.26
	1	43.44	55.13	1.00	1.00	1.00	55.13	1.27
Y	2	20.96	19.35	1.00	0.91	1.00	17.60	0.84
	1	43.44	20.84	1.00	1.00	1.00	20.84	0.48

表 4 B 棟の耐震補強後の耐震精密診断結果

方向	階	必要耐力 Qr(kN)	保有する耐力 (修正前)(kN)	剛性率 低減 Fs	偏心低 減 Feq	床仕様 低減 Fef	保有する 耐力 Qd(kN)	充足率 Qd/Qr
X	2	20.96	40.72	1.00	1.00	1.00	40.72	1.94
	1	43.44	85.45	1.00	1.00	1.00	85.45	1.97
Y	2	20.96	42.14	1.00	1.00	1.00	42.14	2.01
	1	43.44	79.83	1.00	1.00	1.00	79.83	1.84

実験の詳細報告は以下の文献を参照して下さい。

- ・ 清水秀丸他、2008、「平成 17 年度大都市大震災軽減化特別プロジェクトⅡ 木造建物実験－震動台活用による構造物の耐震性向上研究－」、防災科学技術研究所研究資料第 320 号  
（PDF は以下から参照できます。  
[http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/nied\\_tech\\_note/pdf/n320.pdf](http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/nied_tech_note/pdf/n320.pdf) ）

以上